

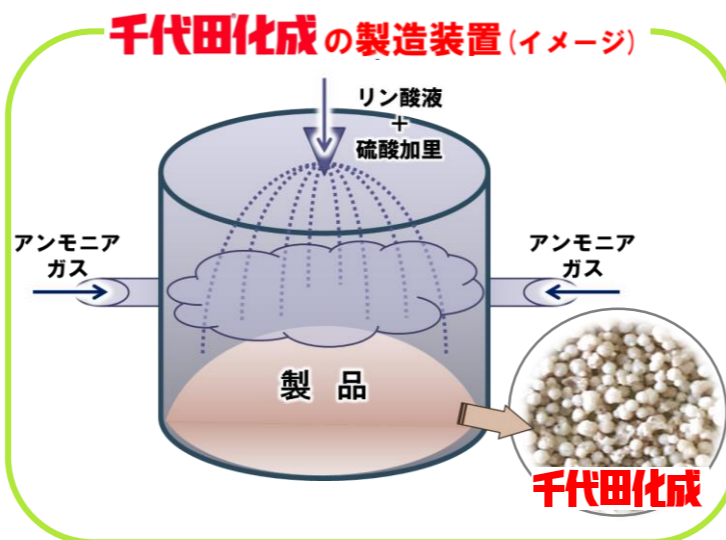


## 寒くなると肥料が効かない!

気温が低い時は、地温も低くなり根の活動がにぶくなり、養分吸収が低下します。  
こんな時は**千代田化成**の施肥が有効です。

### ①世界唯一の製造方法

**千代田化成**は一般造粒化成とは製造方法が異なります。乾式法という当社独自の製法で作られています。右図のように、リン酸液と硫酸カリを上部より噴出しアンモニアガスと化学反応させる方法です。これにより、リン安と硫酸加里を含むポーラス肥料が生成されます。特殊な作り方だからこそ、造粒化成と比べ一粒中の成分が均一で、ムラなく肥効を発揮します。



### ②すぐに溶ける! だから低温下でも土壤に吸収される!!

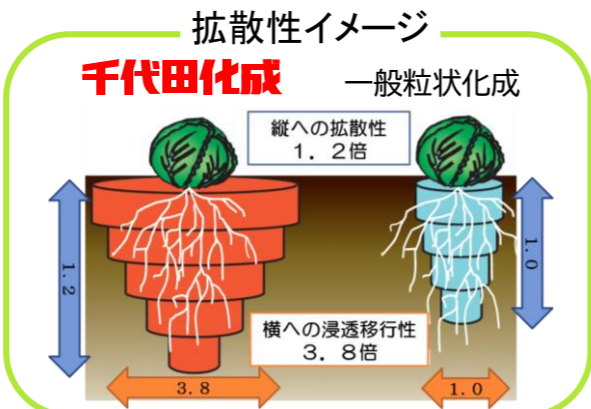
施肥後すぐに溶けはじめて土壤に吸着します。一般粒状肥料は大きな変化がありません。



すぐに溶けるその秘密は、ポーラス状(空洞がある)です。水分が当たる表面積が大きいので一般化成と比較すると溶出が早く、高い肥効を発揮します。秋冬の乾燥した土でも、**千代田化成**なら少ない水分ですぐに溶け、土壤に吸着され効果を発揮します。

### ③拡散性に優れる

拡散性に優れ、広く根圏をカバーします。成長スピードが遅くなる低温時でも効率よく肥料成分を吸収できます。寒い時期にもしっかりと効かせたい**果樹のお礼肥**や**野菜への追肥**に最適です。



シャインマスカットは種が無く、皮ごと食べられる手ごろさもあり、2022年には巨峰、デラウェアを抜き、栽培面積がトップになるなど、非常に勢いのある品種です。今回は山梨県の**千代田化成**を使って頂いているブドウ農家さんへのインタビューと販売店である飯野本店さんの“飯野 巖さん”へも栽培の現状を伺ってきました。

### 素早く効いて、いつでも使える**千代田化成**!

#### 鶴田様

早速ですが、千代田化成をどのような時に使っているのでしょうか?

速効性でだらだら効かないので、色々なポイントで使っています。まとめると下表のような感じです。

千代田化成550	時期	施肥量
芽出し肥え	2月下旬	20kg/10a
玉肥え	6.7月頃に様子を見ながら	20kg/10a
お礼肥え	10月初旬頃 収穫後なるべく早く	20~40kg/10a

あとは千代田化成を使って印象的なエピソードはありますか?

樹勢が弱くなっている樹に使ったときに目に見えて葉の色が良くなった時は驚きました。あとは粒張りも良くなると感じてます!

すぐに溶けて、すぐに効く千代田化成の効果を実感できますね。お礼肥えは特におすすめですので、今後は是非ご使用ください。

### シャインマスカット ここが**栽培ポイント**!

#### 飯野 巖様

農家さんを回っていて感じることを教えてください。

シャインは収益性の高い品種なので、房の数を多く、大きい房を仕立てようとする傾向が出てます。その傾向が今年の開花異常の多さに繋がったと言われております。

買う側からしても高価ですからね。そのような方へはどのようなアドバイスをされているのですか? あとご自身でシャインを作られていて、栽培のポイントを教えてください。

**■アドバイス**  
施肥量を増やして収量を増やしましょう! 県の基準では巨峰、ピオーネと同じなのですが、それだけでは足りないと感じます。収量の多い農家さんは基準の倍以上、施肥している方もいるぐらいです。

**■栽培のポイント**  
①1間につける房数と重量の基準を守る。  
②シャインは樹勢を落とさない。樹勢が落ちると回復が難しいので、肥料を切らさぬように気を付けて下さい!

『樹勢が弱まったときに使用したらすぐに葉の色が良くなった!』とその効果を実感して頂き、様々な場面で**千代田化成**を使用して頂いておりました。速効性に優れている千代田化成はすぐに作物に吸収されて効果を発揮します。これからも千代田化成のご使用をお願いします。鶴田様、飯野様ありがとうございました。

### 果樹のお礼肥えでこの速効性を体感してください!

**千代田化成**は効かせたいときにすぐに効くので、収穫後の果樹のお礼肥えに最適な肥料です。収穫後の樹木は果実に栄養を持ってかれ、疲れ切っている状態です。収穫後すぐの施肥で樹勢回復を促しましょう。寒さが強まる10月以降でもしっかりと効果が現れます。落葉が始まる前にお礼肥えを施肥して、次年度の準備を!!